

## 今週のメニュー

### ■トピックス

- ◇欧州塩ビ協会のニュースレターより  
ーミラノ国際博覧会 2015 のパビリオンに PVC 製品ー

### ■随想

- ◇レソト王国旅行記（2）ー国旗ー

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

### ■編集後記

### ■トピックス

- ◇欧州塩ビ協会のニュースレターより  
ーミラノ国際博覧会 2015 のパビリオンに PVC 製品ー

欧州の塩ビの業界団体である ECVM (European Council of Vinyl Manufactures) では、年 4 回の頻度で、[Wonderful Vinyl](#) というニュースレターを発行しています。取り上げられている内容は、素材として PVC を使っている芸術作品を含めたデザイン性に富んだ製品や建築物の紹介です。

2015 年 11 月号では、デンマークの自転車・陸上競技場やカタールの 2022 年ワールドカップに向けたサッカー競技場などの PVC メンブランを使ったスポーツ施設やレーザーカットした PVC シートを使ったアート作品などが紹介されています。また、「和食」がユネスコの無形文化遺産として登録されたことで、日本館が人気となったことでも話題となった「食」をテーマとしたミラノ国際博覧会 2015 のパビリオンも掲載されています。この Wonderful Vinyl からミラノ国際博覧会 2015 のパビリオンの話題のいくつかを簡単に紹介したいと思います。

## RCS Media Pavilion

地元メディアのパビリオンでイタリアの建築家とデザイナーによる設計。木製の柱と透明な軟質 PVC シートクッションでできた透明感のある建物で、建物の周りには 22 個の二重層のクッションが覆い、屋根は印刷が施された三重層のプリントクッションで覆われている。そのランダムパターンの模様とクッションのふくらみ具合によりいろいろな配列の光が差し込み、クッション部分の軽さと木枠の重厚さが対照をなしている。



Wonderful Vinyl No.14 より

## The Edicola-Caritas Pavilion

反貧困に取り組む国際的 NGO カリタスのパビリオン。白い箱をずらしながら組み合わせた形態で、壁面はPVC メッシュ製でシンプル構造なので、空気の通りが良く、エアコンが必要ない。自然光が入り、最低限のエネルギー消費という特徴をもっている。



Wonderful Vinyl No.14 より

## German Pavilion

パビリオンの中でも最大級の大きさを誇ったドイツ館は、土地の豊かさと景色、食品の関係をテーマとしている。屋上に突き出た巨大な漏斗状の parasol のようなものは、鉄骨と PVC/PES (ポリエーテルサルフォン) メッシュおよび ETFE で作られ、木を表現しており、木の葉が宙に舞っているようなイメージを作り出している。

## Mexican Pavilion

とうもろこしの実を包む皮を思い浮かばせるような概観を持つメキシコのパビリオンにも、PVC/PES のメッシュが使われている。



左 : German Pavilion、右 : Mexican Pavilion

Wonderful Vinyl No.13 より



なお、エキスポ会場を東西南北に走る2本の幹線道路、Cardp (南北路) と Decumano (東西路) を覆っていたのは、PVC のファブリック・メンブラン被覆材です。この日陰を作った遊歩道は、雨の日は雨をしのぎ、暑い日には周辺より2~3度気温を低くする効果があったとのこと。

Wonderful Vinyl No.13 より

それぞれのパビリオンに使われた PVC 製品は、PVC メッシュ、ターポリン、シート、床材などですが、デザイン性をアピールする上でも重宝された材料のひとつであったようです。

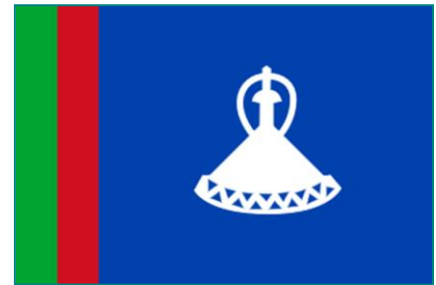
## ■ 随想

### ◇レソト王国旅行記（2）－国旗－

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

われわれ日本人の感覚では、国旗は末永く使うものというイメージがあり、国旗のデザインを変えらるとなると、国を挙げての大論争になりそうです。

レソト王国、政権が変わると、何故か国旗のデザインを変えたくなるようで、独立から 50 年ほどしかたっていないのに、現在の国旗は三代目。独立当時の国旗は、青地に白いソト族の人がかぶっている伝統的な帽子を基調にして、左側に国土を表す緑と誠実を表す赤の縦線が入っていました。この国旗は、1966 年の独立から 1987 年まで使われていました。



レソト王国 初代国旗

ところが、1986 年、クーデターが起こり、当時の政権が崩壊。新しい政権になったので、国旗も新しくしようということになりました。

新しい国旗は 1987 年 1 月 17 日に制定され、左斜め上には白地にソト族の伝統的な盾、槍、棍棒が描かれ、右斜め下には青と緑の 2 色に塗り分けられています。当時の政権での説明では、白は平和を、水色は雨を、緑は繁栄を象徴したものとされていました。



レソト王国 2 代目国旗

1991 年、再びクーデターが起こり、1993 年、民政に移行しました。この時、国旗のデザイン変更が検討されたようで、かなり議論をされたようですが、最終的には変更されませんでした。

2006 年、独立 40 周年を記念して現在の国旗に変わりました。デザイン的には一番初めの国旗のデザインを踏襲したものです。青白緑の三色旗の中央に、独立した際に採用された国旗にも描かれていた、レソト人が習慣的に被っている帽子が描かれています。三色の青は空と雨を、白は平和を、緑は国土を表しています。



レソト王国 現在の国旗

国旗にもデザインされている帽子、Basotho Hat というものですが、日本の麦わら帽子と同じ作りで、デザインが違うだけです。つばの端の方には、赤や青に染めた麦わらを使い、アクセントにしています。車のナンバープレートにも描かれています。

ところが、こちらに来てから実際にかぶっている人をほとんど見ません。みなさん、日本で売っているような、毛糸の帽子をかぶっています。首都、マセルでは売っているのを見ましたが、それ以外で売っているところも見たことがありません。もう使われることもなくなったのかと思ったら、地元の人に、今回滞在しているのはレソト王国の中でも標高が高いハイランド。朝晩寒いでしょう。Basotho Hat はもっと暖かい、ローランドの人たちがかぶるものだよと教えてくれました。

帽子もとんがっていますが、伝統的なレソト王国の家の屋根もとんがっています。私は実際にこちらに来るまで、国旗に描かれているデザイン、Basotho Hatではなく、伝統的な家の屋根だとばかり思っていました。



頻繁に国旗が変わると、困ることもあります。世界大会や会議などの際、以前の国旗が掲揚されることも度々あるとか。

レソト王国に昔からある建築様式の家

買い替えるのが大変だということもあるのかもしれませんが、レソト王国国内で、国旗が掲揚されていたり、印刷されていたりしたものをほとんど見かけません。

(続く)

次回は、(3) 一道路一です。

⇒ [バックナンバー](#)

## ■ 編集後記

PVCデザインアワードも大阪・名古屋・福岡と各地で展示を行い多くの方に新たな塩ビ製品を見て頂きました。五回目のアワードで展示・撤収ともうすっかり慣れ、準備の時間もだいぶ早くなってきました。

お忙しい中ご協力を頂きました方々に御礼申し上げます。(リマル)

## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 高橋 満

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)